

2010年（平成22年）度
外務省情報ネットワーク（共通システム）
業務・システム最適化実施評価報告書

2011年（平成23年）8月26日
外務省情報化推進委員会決定

1. 外務省情報ネットワーク（共通システム）業務・システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	外務省 大臣官房 情報通信課
府省全体管理組織担当課室名	外務省 大臣官房 情報通信課
対象期間	2010年4月1日～2011年3月31日
最適化工程の段階	設計・開発段階及び運用段階
業務・システム最適化の概要	<p>最適化に当たっては、ネットワーク回線として基幹通信網（IP-VPN 網）による本省及び在外公館等間の完全な広域ネットワークの構築を実現するとともに、構内ネットワークについては、従来どおり2系統の情報ネットワークを維持し、外交秘密を扱う秘匿度の高いクローズドLANと、一般的な情報を扱いインターネット利用と外部からの情報アクセスが可能なオープン LAN を整備する。</p> <p>これにより、外務省情報ネットワークの構成を見直し、ネットワーク回線の統合やLAN 機器の集約による経費の削減を図る。一方で、新たな機能の追加や強化を行うことで利便性の向上及びセキュリティの強化を図り、全体として効率的かつ効果的な投資を行う。</p>

2. 最適化実施状況

(1) 設計・開発段階

本省及び在外公館等間の広域ネットワークの再構築

（最適化の実施内容：基幹通信網の整備）

- 本省と在外公館等間を結ぶ広域ネットワークは、高度データ通信システム、デジタル通信網及び公衆電話網が混在する環境から基幹通信網に統合し、本省及び在外公館等間のネットワークによる情報交換は、原則として、すべて基幹通信網を通じて行う。
- 基幹通信網の整備にあたっては、適切なネットワーク回線容量を選択することにより、安定したネットワーク環境を実現する。
- すべての在外公館等に基幹通信網を導入することで、在外公館等間に発生している情報格差を解消する。

(最適化の実施状況)

- 2010年度(平成22年度)には、次年度以降の最適化に対し、よりスリム化し、更なる効率化を実現するための検討を行った。

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因
特になし。

(2) 運用段階

①本省及び在外公館等間の広域ネットワークの再構築

(最適化の実施内容：基幹通信網の整備)

- 本省と在外公館等間を結ぶ広域ネットワークは、高度データ通信システム、デジタル通信網及び公衆電話網が混在する環境から基幹通信網に統合し、本省及び在外公館等間のネットワークによる情報交換は、原則として、すべて基幹通信網を通じて行う。
- 基幹通信網の整備にあたっては、適切なネットワーク回線容量を選択することにより、安定したネットワーク環境を実現する。
- また、すべての在外公館等に基幹通信網を導入することで、在外公館等間に発生している情報格差を解消する。

(最適化の実施状況)

- 2010年度(平成22年度)の実績として、在ジブチ大及び在モーリタニア大に基幹通信網を導入し、累計で230公館となった。

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因
特になし。
- 対策
特になし。

②本省及び在外公館等の構内ネットワークの再構築

(最適化の実施内容：クローズドLANおよびオープンLANの整備)

- 霞が関WAN及び総合行政ネットワーク(LGWAN)の府省内LANへの接続をオープンLANに変更することにより、より利用しやすい環境にする。
- 基本システムの機能統一については、シングルサインオンを導入するとともに、重複している機能について整理及び統一し、利便性の向上を図る。

(最適化の実施状況)

- 2010年度(平成22年度)までの実績として、本省、国内拠点及び在外63公館における構内ネットワークの再構築を行い、外交秘密を扱う秘匿度の高いクローズドLANと、一般的な情報を扱いインターネット利用と外部からの情報アクセスが可能なオープンLANを整備した。

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因
特になし。
- 対策
特になし。

③外部からの情報アクセスの実現

(最適化の実施内容)

- 通信データの暗号化及び利用者認証等，必要なセキュリティ対策を施した上で，モバイル端末の導入及びオープン LAN（メール）への外部からの情報アクセス環境の整備を行い，利便性の向上を図る。

(最適化の実施状況)

- 2010 年度（平成 22 年度）においては，公用のパソコンでの外部からのオープン LAN メール（Outlook）へのアクセス環境の整備を行った。

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因
特になし。
- 対策
特になし。

④運用管理業務の強化

(最適化の実施内容)

- 在外公館におけるシステム運用管理業務の負担軽減を図るため，外務省 LAN の運用管理体制を 24 時間体制とするなど運用管理業務の強化を行う。

(最適化の実施状況)

- 2008 年度（平成 20 年度）に在外公館におけるシステム運用管理業務の負担軽減を図るため，外務省 LAN の運用管理体制を 24 時間体制とし，2010 年度（平成 22 年度）においても，引き続きその運用を行っている。

【最適化実施の評価】

- 課題及び問題とその原因
特になし。
- 対策
特になし。

⑤外務省情報ネットワークの機能強化

(最適化の実施内容：国際 IP 電話の導入)

- 本省と在外公館等の電話連絡に関して，秘匿性を確保するためにクローズド LAN に国際 IP 電話を導入する。国際 IP 電話の導入により，在席確認等の新機能の利用及び人事異動やレイアウト変更への柔軟な対応も可能となる。

(最適化の実施状況)

○2010年度(平成22年度)には2在外公館に国際IP電話を導入し、導入公館は累計で230公館となった。

【最適化実施の評価】

○課題及び問題とその原因

特になし。

○対策

特になし。

3. 最適化の効果の評価

(1) 最適化効果指標の目標値に対する達成度の評価

【最適化共通効果指標】

①削減経費(単位:千円)

本省及び在外公館間の広域ネットワーク再構築及び国際IP電話の導入により削減経費目標値を達成した。

具体的には、最適化計画策定時に比べ回線経費が安価となったこともあり、運用経費については目標額以上の削減が可能となった。また、国際電話料金については国際IP電話の利用促進効果により、大幅な削減を実現した。

ただし、外部からの情報アクセスについてはモバイル端末の他、スマートフォンに対する需要増加に伴い、右に必要なサーバ構築の調達コストが増大したことで目標削減額を実現することができなかった。

○本省及び在外公館等間の広域ネットワークの再構築

目標削減額 1,019,331 実績削減額 1,815,135 削減上乘額 795,804

○本省及び在外公館等の構内ネットワークの再構築

目標削減額 -15,391 実績削減額 2,116,919 削減上乘額 2,132,310

○外部からの情報アクセスの実現

目標削減額 -17,596 実績削減額 -28,635 削減上乘額 -11,039

○運用管理業務の強化

目標削減額 -93,996 実績削減額 7,533 削減上乘額 101,529

○セキュリティ対策

目標削減額 -280,468 実績削減額 -28,564 削減上乘額 251,904

○情報ネットワークの機能強化

目標削減額 -126,358 実績削減額 1,230 削減上乘額 127,588

②削減業務処理時間

2010年(平成22年)度においては、最適化の効果は発現しない。

【最適化個別効果指標】

2010年(平成22年)度においては、64公館の最適化を完了した。ただし、平成22年度の予算が削減されたため、目標値の達成が不可となった。

○運用管理業務の強化

目標値 100% 実績値 28.02%

4. 最適化実施の総合評価

最適化計画に基づき「広域ネットワークの再構築」等作業を実施したことにより、一部を除いて、2009年度(平成21年度)に引き続き当初の目標以上の効果を実現していることは評価できる。2011年度(平成23年度)以降は、よりスリム化した最適化を実施することで、更なる効果の実現に向け作業を継続することが重要である。

今後とも、関係する他の最適化案件と連携し、外務省情報ネットワークの最適化に向けた作業を進めることが重要である。

5. その他

特になし。

6. 添付書類

最適化効果指標・サービス指標一覧

(了)